

大人のための情報モラル通信

フェイクニュースを見破るコツについて

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

SNSの普及により個人が情報発信できる時代になり、時間や紙面の制約で一部の情報しか入手できない既存のメディアよりも、**広く深く情報を得られる**ようになりました。

SNSは基本的にスポンサーへの忖度がないので、既存メディアからは得られない情報もありますが、ネットの情報は虚実混交です。**真偽を検証する力**が求められます。

情報量に制約なし！
とことん深掘りできる！
(※注：虚実混交につき要検証)

忖度なし！
(特定のスポンサーがない)

身も蓋もない
事実の陳列！



特に今後は、AIの普及によって**フェイクニュースの増加が懸念**されます。少し前には、AIで作成した洪水被害のフェイク画像がSNSに投稿されて問題になりました。

ただ、それも落ち着いて見ればウソと分かる程度のもので、「表面」や「見出し」だけで判断して中身を確認しない人は、これからも**だまされる危険**があります。

★世の中の情報は偏向しがち★

ネット社会において、受け身の情報だけを消化しては、自ら情報を得て検証する人に敵いません。しかし、情報の検証について、子どもたちはあまり学ぶ機会がありません。

世の中の情報は偏向しがちです。家族や友達との会話ですら、自分に都合がよくなるための**細工**をして発言をしがちです。もちろん、それはSNSを含めたメディアの発信でも同じです。

そのような**細工された情報**に惑わされないためには、検証が欠かせません。「**誰が**」「**いつ**」「**複数の人が言っているか**」といった3要素、各頭文字をとり「**だ・い・ふく**」として覚えて、子どものうちから情報を検証する力を養いましょう。

だ ... 「だ」 れが

い ... 「いつ」

ふく ... 「ふく」 すう
の人かどうか



発信者(メディア)の信頼度、過去の情報ではないか、他に誰(メディア)も同じ内容を発信していない…これらは**要注意ポイント**です。また、ネットの二重情報は多くの人に検証されて消えます。不要な情報は時間の経過に任せ、必要な情報は「**だいふく**」で検証しましょう。